



食品ロス削減の取組紹介



vol.33

一般社団法人 フードバンクながはま(長浜市)

地域連携をフルに活かした長浜市食品ロスゼロ市計画



当法人は「あなたの家のもったいない そこから始まる支援のカタチ」をスローガンに、長浜市を中心に滋賀県北部で活動しています。2018年からフードバンクの活動をスタートし、2020年以降のコロナ禍により食に困られている方が急増した実態を受けて、本格的にフードバンク事業を行いました。現在は、長浜市の委託事業で生活困窮者支援、子育て世帯支援、学生支援、緊急食料支援を行っています。その一方で、食品ロス、食材ロスゼロを目指し、長浜市を「食品ロスゼロ市」とすることを公言し取り組んでいます。

食品ロス削減の取組内容：
①市内18箇所へのフードボックス設置による家庭の食品ロス削減の取組：行政、社協、民間企業様のご協力の元、食品回収の呼びかけと食品ロスの周知活動を実施しています。

②農家さんの食品ロス削減の取組：当法人では他のフードバンクが集められていない野菜類も常時回収の対象にしています。

③回収食品による炊き出し支援：回収させて頂いた食材や、野菜などを使用して、3ヶ月に1度炊き出し支援を実施。生活に困っておられる方に無料の生活相談会も同時に実施しています。

④給食センターとの連携による食品ロス削減：長浜市の給食センターと連携し、急な学校閉鎖、学級閉鎖時に発生する給食に使う材料の食品ロスの救助も実施しています。

食品ロスの削減効果は、フードボックス年間1,200kg、農家さんからの野菜、米関係3,000kg、給食センター関係500kg、合計4,700kgです。

今後の取組みでは、県内での食品ロスのマッチングを目指します。例えば南部では〇〇が余って、〇〇が不足しているといった地域ごとの食品の過不足の実態を把握し、必要な地域へ食品を循環させて県内の食品ロスをゼロにへする取組みを全県で進めていきたいと考えています。



農家さんから回収した玉ねぎ



フードドライブ実施の様子



一般社団法人フードバンクながはま

住所：滋賀県長浜市 TEL:080-6147-2373

設立：2018年4月

業種：当法人は、あなたの家の「もったいない」そこから始まる支援のかたちをスローガンに、まだ食べられるのに捨ててしまっている食材、食品を必要とされている方や団体に繋げる活動をしています。

長浜市を食品ロスゼロの市にしていくため、市民の方にフードロスの現状を知ってもらい、市民一丸となって取り組んでいく必要があります。ただ、食品ロスを出さないようにと消費に対して消極的になってしまい、経済が回らないといった悪循環にはなってほしくありません。私としては、気軽に食品ロスを削減できるように、フードボックスをスーパーマーケットなどの施設に設置させてもらい、事業者様に食品ロスを身近に感じてもらっていると考えております。また、市民の皆様には、食品の回収・配布などを通じて食品ロスへの関心を持って頂いていると感じております。今後は、小中高校などの子どもたちにも食品ロスを知ってもらい、次世代の長浜市が食品ロスのない街になっていけばと感じております。



代表理事
前田智博さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

よっしーくん